JOYWIN IP法律事務所

陳集文弁護士 / 代表弁護士

JOYWIN IP法律事務所
2001 Lストリート、北西
スイート500
ワシントンDC 20036
アメリカ合衆国

電話番号: 703-403-7860
Eメール: ip@joywiniplaw.com
usiprlaw@gmail.com

JOYWIN
IP LAW PLLC

当法律事務所について：

私たちはワシントンDCにある知的財産法専門の法律事務所です。個人および企業のお客様は、知的財産権の最大限の保護と執行において、私たちを頼りにしてくださっています。世界中のクライアントが、以下の分野における私たちの専門知識を高く評価しています。

- 実用新案、意匠、植物特許
- 商標、サービスマーク、ロゴ、商号、ドメイン名
- 文学作品、音楽作品、美術作品、建築作品及び工業作品の著作権
- 米国および国際における訴訟および紛争解決
- ライセンス供与および技術移転 米国および国際的に
- 企業秘密の保護

当社はグローバルな知的財産保護において豊富な経験を有しています。

当社は、米国および海外の特許出願、ならびに米国および海外の商標出願を多数行っています。また、数百件に及ぶ特許および商標の控訴、特許抵触訴訟、再審査および再発行、ならびに商標異議申立および取消訴訟において、数々の成功を収めてきました。化学、機械、バイオテクノロジー、電気工学から、電子工学、コンピュータサイエンス、エンターテインメント、医療に至るまで、あらゆる主要分野において、幅広い技術的専門知識を有しています。

私たちはあなたの言語を話します

、英語をはじめとする多言語で、迅速かつ費用対効果の高い専門サービスを提供しています。お客様と円滑にコミュニケーションを取ることで、時間の節約になり、特に技術的な問題など、翻訳で失われがちなニュアンスをより直接的かつ効果的に伝えることができると考えています。

グローバルネットワークと便利なオフィス立地を誇ります

当社のグローバルな知的財産専門家ネットワークは、ほぼすべての国でクライアントの権利保護を提供できます。ワシントンD.C.のダウンタウンに位置する当社は、米国特許商標庁、米国著作権局、連邦巡回控訴裁判所、米国最高裁判所など、クライアントのビジネスにとって重要な連邦機関や裁判所からわずか数分の距離にあります。



弁護士に連絡する：

ジウェン・チェン 経営弁護士、特許弁護士、商標弁護士

陳氏は20年以上の実務経験を有しています。陳氏の知的財産法実務は、特許出願の作成、特許審査および商標登録、特許性、侵害および有効性に関する意見書の作成、顧客への助言、ポートフォリオ戦略および管理、米国、アジア、および国際におけるライセンス供与および訴訟など、特許および商標の保護と訴訟のあらゆる段階を網羅しています。陳氏の業務経験は、化学、バイオテクノロジー、医薬品、バイオインフォマティクス、医療機器、機械、電子、通信ソフトウェア、その他の特許分野など、技術分野を網羅しています。米国特許商標庁の特許審判部において控訴審を担当した経験があり、米国および海外の顧客のために欧州、カナダ、中国の特許庁における手続きにも携わってきました。さらに、国立衛生研究所技術移転局において技術移転に関する研究を行いました。陳氏はまた、ニュージャージー州連邦地方裁判所のジョセフ・A・グリーンアウェイ・ジュニア判事のサマー・ロー・クラークを務めました。

チェン氏は、知的財産保護、技術移転、アジア関連の企業法務および国際貿易問題に関するクライアントへの助言を含む国際的な業務を行っています。以前は、米国総合法律事務所のワシントンDCオフィス、知的財産専門法律事務所、中国法律事務所の上海オ

フィスに勤務していました。通信、医薬品、除草剤分野において、アジアでの事業設立および知的財産保護に関する法的戦略について、米国の大手企業に助言を提供してきました。米国とアジアの両方における研修、経験、ネットワークを活かし、チェン氏は、中国、台湾、韓国、日本、香港に関わる知的財産デューデリジェンス、申請、取引、執行に関して米国クライアントを成功裏に支援し、米国に関わる同様の問題についてアジアのクライアントを支援してきました。

陳氏は知的財産法および実務に関する多数の論文を執筆しています。米国最高裁判所のホームズ・グループ判決後の特許法上の反訴に対する管轄権に関する同氏の論文は、Northwestern Journal of Technology and Intellectual Property（2009年、第8巻、第1号）に掲載されました。生物医学発明の効果的なマーケティング戦略に関する同氏の研究は、Journal of Medical Marketing（2005年、第4巻、第5号）に掲載されました。中国の特許法および著作権法、技術移転および訴訟に関する同氏の論文は、リッチモンド大学ロースクールのRichmond Journal of Global Law & Business（2001年、第2巻、第61号）、米中ビジネス協議会のChina Business Review（2001年11月、第28巻、第5号）に掲載されました。

陳氏は、米国およびアジアにおける知的財産保護に関する講演を頻繁に行っています。また、陳氏は、米国弁護士協会のタスクフォースのメンバーとして、中国特許法第3次改正に関して中国知的財産局に助言を行っています。

学部教育：
天津大学、工学士、化学工学専攻。
英語学学士

大学院教育：
復旦大学法学部、法学士
ジョージ・ワシントン大学ロースクール、知的財産法修士（LL.M.）
ジョージタウン大学、生化学および分子生物学修士
ノースウェスタン大学ロースクール、法務博士（JD）、学部長表彰

弁護士資格取得および要件：
1998年、中華人民共和国国家弁護士資格および特許弁護士資格を取得。
2001年にニューヨーク州弁護士資格、2007年にワシントンD.C.弁護士資格を取得。
2001年に米国特許商標庁に登録されました。
米国連邦巡回控訴裁判所、2001年
米国国際貿易裁判所、2001年
アメリカ合衆国最高裁判所、2014年

会員資格：
アメリカ弁護士協会
アメリカ知的財産法協会
連邦巡回控訴裁判所弁護士協会
ITC訴訟弁護士協会